

## 農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

自治会が中心となり、クマを地域に寄せ付けない対策を継続的かつ精力的に実施。捕獲のみに頼らず、農作物被害を軽減。

### 猪去自治会

主な取組

（自治会長：山口 弘）

岩手県盛岡市

猪去地区は水稲やりんごの生産が盛んであり、ツキノワグマによる果樹被害等が発生。平成18年には、市内のクマの捕獲数の半数を猪去地区が占めた。

このため、平成19年に自治会が盛岡市へ働きかけ、岩手大学、猟友会(26年度より実施隊)との4者による被害防止活動を開始。平成20年には地区一帯に電気柵を整備するなど、自治会が中心となりクマを地域に寄せ付けない対策を開始。関係者の協力を得ながら、柵周辺の除草活動(緩衝帯整備)を年3回継続的に実施。

また、被害状況の定期的な調査、被害マップのとりまとめ、自治会の回覧板を利用した被害情報の周知・共有を実施。さらに、大学生の研究活動として、センサーカメラを用いたクマの生態状況調査により、農地への侵入防止効果を確認。毎年自治会が開く研修会で情報提供を行うなど、住民の意識向上を図っている。

住民が見回り、電気柵の設置、緩衝帯の整備などを継続的に実施することで、捕獲のみに頼らず農作物被害の軽減等に繋げたモデルとして、評価できる。